

「若者目線」のアイデアで木材活用を

2/8

「ゼミ学生等地域貢献事業」として、静岡文化芸術大学の学生が木工製品を提案



若い世代が手に取りたくくなるような製品を提案した

静岡文化芸術大学の学生3人による研究「木材を活用した地域創造」の報告会が役場本庁にて開催され、約20人が聴講しました。

3人は、昨年9月からの4カ月間、町内の観光地や木材関連の事業所を訪れ、商品ニーズや木材利用の課題を調査しました。報告会では、調査結果を基に制作した「アクセサリー」や「絵本」、「木の香りを拡散させるインテリア小物」を紹介しました。3人から説明を聞いた出席者からは「制作コストの計算方法は」「完成度が高く、ぜひ商品化できないか」といった質問や意見がありました。

2/18 里山で紡がれる伝統農法を見つめ直す

「千年の学校」公開講座として「静岡の茶草場農法」の学習会を開催

町では、世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場農法」について学ぶ学習会を尾呂久保地区にて開催し、約30人が参加しました。

はじめに、県お茶振興課の鈴木英志専門監から、世界農業遺産や茶草場農法の概要について説明を受けました。次に、茶草場農法の実践茶園である「つちや農園」にて、茶園や周辺環境を見学するとともに、園主の土屋鉄郎さんから話を聞きました。参加者からは「有機農法との違いが理解できた」「『本物』の強さを未来にもつなげていければと感じた」などの感想が聞かれました。



土屋さん宅で茶を味わう参加者
茶草場農法の現状を説明した鈴木専門監

トラブルに巻き込まれないためには？

2/26

町人権擁護委員会が町内小中学校にて「人権教室」を開催



普段のスマートフォンの使い方などを話す人権擁護委員と生徒

町人権擁護委員会は、「スマートフォンやインターネットとのつきあい方」をテーマとした人権教室を中川根中学校にて開催し、全校生徒と保護者をあわせた約90人が参加しました。

参加者は、トラブル事例をまとめたDVDを視聴した後、グループに分かれて感想を話し合いました。生徒からは「友人の写真を勝手に掲載しない」「むやみに知らない人と連絡をとらない」などの意見が発表され、森田雅文委員は「ルールを守り、自分や友人を大切にして、IT技術を有効に活用してほしい」と呼び掛けました。



お茶の里 ファミリーマラソン

3月11日 9:30~
スタート・ゴール:役場本庁前

1キロ・2キロの部:135人
3キロの部:47人 5キロの部:68人



Congratulations!!
2 1 3

▼3キロの部 男子

- ①鳥澤圭佑(柳三) 11分30秒
- ②鳥澤光佑(柳三) 11分38秒
- ③加藤詩文(静岡市) 12分29秒



▼5キロの部 男子

- ①鈴木龍弥(徳山) 16分59秒
- ②井上智弘(静岡市) 17分11秒
- ③山崎弘靖(静岡市) 17分42秒



▲3キロの部 女子

- ①澤本こころ(高郷) 12分53秒
- ②西村美希(久保尾) 13分25秒
- ③瀧尾菜乃(瀬平) 13分29秒



▲5キロの部 女子

- ①村松和美(接岨) 22分49秒
- ②加藤知美(静岡市) 23分15秒
- ③鈴木柚菜(田野口) 23分53秒

